

2 総合原価計算

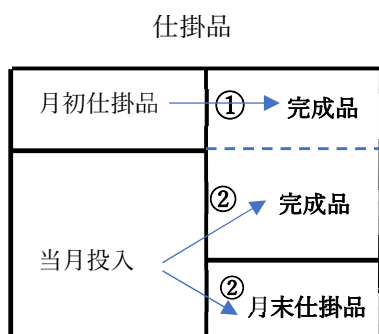
種類の異なるそれぞれの製品を同一のものと考えて全体の原価を計算していく方法
(大量に同一の製品を反復生産する場合に適用)

直接材料費と加工費 (= 直接材料費以外) に分けて計算していく。

直接材料費		加工費
直接材料費	間接材料費	
直接労務費	間接労務費	
直接経費	間接経費	

(1) 先入先出法

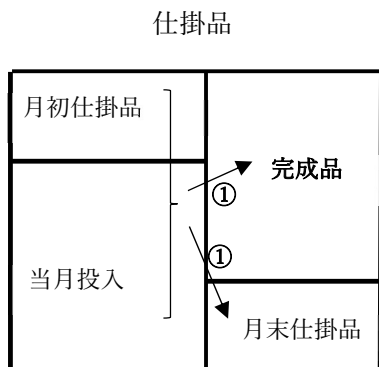
先に加工し始めたもの (月初仕掛品) から先に完成させたと考えて計算する方法。
(月初の仕掛品をまず完成させてから、新たに製品を製造し始めると考える。)



- ① まず、月初仕掛品 (= 前月末の仕掛品) を完成させたと考える。
- ② 次に、当月投入分で新たに製造を始めたと考える。

(2) 平均法

月初仕掛品原価と当月製造費用の合計を完成品と月末仕掛品の両方に平均的に配分する方法。



月初仕掛品と当月投入費用 (= 当月製造費用) の平均単価で完成品と月末仕掛品を計算する。

(問題)

次の資料に基づいて、(1) 先入先出法、(2) 平均法のそれぞれの方法で総合原価計算表を完成しなさい。原料は工程の始点で投入し、() は加工費の進捗度である。

〈生産データ〉

月初仕掛品	20 kg (50%)
当月投入量	100
合計	120
月末仕掛品	30 (33.33% = 1/3)
完成品	90
合計	120

〈総合原価計算表〉

	直接材料費	加工費	合計
月初仕掛品	250	150	400
当月製造費用	950	450	1,400
合計	1,200	600	1,800

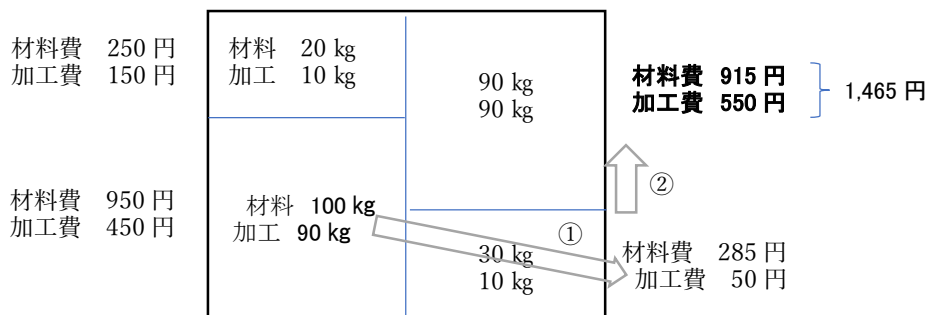
・先入先出法

月末仕掛品	()	()	()
完成総合品原価	()	()	()

・平均法

月末仕掛品	()	()	()
完成総合品原価	()	()	()

(解答・先入先出法)



① まず、当期投入分から月末仕掛品の費用を計算する。

$$\text{材料費} : 950 \text{ 円} / 100 \text{ kg} \times 30 \text{ kg} = 285 \text{ 円}$$

$$\text{加工費} : 450 \text{ 円} / 90 \text{ kg} \times 10 \text{ kg} = 50 \text{ 円}$$

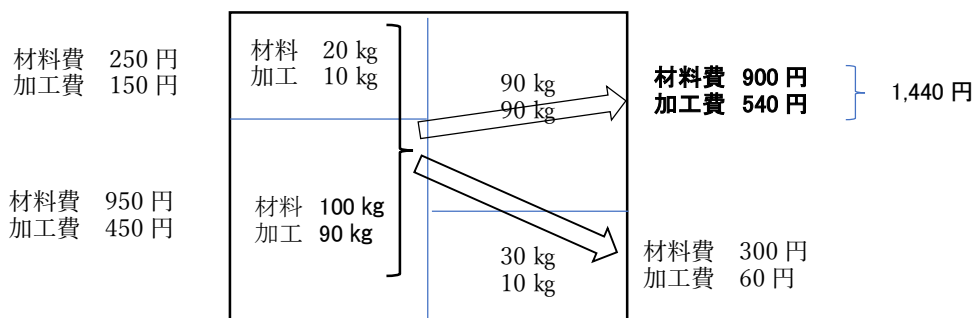
② その後、当期完成費用（完成総合品原価）を計算する。

$$\text{材料費} : 250 \text{ 円} + 950 \text{ 円} - 285 \text{ 円} = 915 \text{ 円}$$

$$\text{加工費} : 150 \text{ 円} + 450 \text{ 円} - 50 \text{ 円} = 515 \text{ 円}$$

	直接材料費	加工費	合計
月末仕掛品	285 円	50 円	335 円
完成総合品原価	915 円	550 円	1465 円

(解答・平均法)



$$\text{材料費} : (250 \text{ 円} + 950 \text{ 円}) / (20 \text{ kg} + 100 \text{ kg}) \times 90 \text{ kg} = 900 \text{ 円}$$

$$\text{加工費} : (150 \text{ 円} + 450 \text{ 円}) / (10 \text{ kg} + 90 \text{ kg}) \times 90 \text{ kg} = 540 \text{ 円}$$

	直接材料費	加工費	合計
月末仕掛品	300 円	60 円	360 円
完成総合品原価	900 円	540 円	1440 円